

令和3年国民健康・栄養調査の企画について（案）

1. 拡大調査の調査目的

令和3年国民健康・栄養調査は、全国の代表値の把握に加え、健康日本21（第二次）の最終評価及び次期国民健康づくり運動プランの策定に資する基礎資料を得ることを目的とし、調査地区を拡大した国民健康・栄養調査（拡大調査）を実施する。令和3年調査の重点テーマは「地域格差の把握」である。

	平成24年	平成28年	令和3年
国民健康・栄養調査	拡大調査実施（地域格差の把握）		
健康日本21（第二次）の推進	ベースライン 実態把握	中間評価	最終評価

2. 過去の拡大調査における標本設計の考え方

過去の拡大調査（平成24年、28年調査）では、地域ブロック別・年齢階級の誤差率がおおむね5%程度となるように1道府県あたり10地区、東京都15地区の475地区（約23,750世帯及び当該世帯の世帯員約61,000人）が必要という考え方で実施した。

表1 平成28年国民健康・栄養調査の体格(BMI)及び生活習慣に関する都道府県の状況

	全国平均	都道府県の状況		上位群と 下位群の差
		上位群	下位群	
1. BMIの平均値 (kg/m ²)				
男性 (20~69歳)	23.8	24.4	23.4	0.9
女性 (40~69歳)	22.6	23.3	22.1	1.2
2. 野菜摂取量の平均値 (g/日)				
男性 (20歳以上)	284	318	258	59
女性 (20歳以上)	270	302	242	60
3. 食塩摂取量の平均値 (g/日)				
男性 (20歳以上)	10.8	11.5	10.0	1.5
女性 (20歳以上)	9.2	9.7	8.5	1.1
4. 歩数の平均値 (歩/日)				
男性 (20~64歳)	7,779	8,264	6,774	1,490
女性 (20~64歳)	6,776	7,200	5,930	1,270
5. 現在習慣的に喫煙している者の割合 (%)				
男性 (20歳以上)	29.7	35.2	25.4	9.9

※都道府県別データを高い方から低い方に4区分に分け、上位25%の群を上位群、下位25%の群を下位群とした。

なお、熊本県は除く。

※比較に用いた値は、各指標の年齢区分における平均年齢で年齢調整を行った値である。

※上位群と下位群の差は、四捨五入のため上位群の平均値から下位群の平均値を引いた値とは一致しない。

3. 令和3年調査の客体規模

令和3年調査における調査客体の規模について、過去の拡大調査（平成24年及び28年調査）の結果の精度（誤差率）等を参考に検討した結果は、以下のとおり。

表2 平成24年及び28年調査における誤差率の比較

		8割の都道府県で達成された誤差率	
		平成24年	平成28年
BMIの平均値	男性（20～69歳）	1.5%	1.7%
	女性（40～69歳）	1.6%	1.8%
野菜摂取量の平均値	男性（20歳以上）	4.8%	5.7%
	女性（20歳以上）	4.6%	5.3%
食塩摂取量の平均値	男性（20歳以上）	3.4%	3.7%
	女性（20歳以上）	2.9%	3.5%
歩数の平均値	男性（20～64歳）	5.3%	7.1%
	女性（20～64歳）	5.6%	5.7%
現在習慣的に喫煙している者の割合	男性（20歳以上）	11.9%	11.9%

表3 平成24年及び28年における世帯実施率の比較

	平成24年	平成28年※
調査対象世帯数（世帯）	24,555	24,187
調査実施世帯数（世帯）	12,750	10,745
実施率（%）	51.9	44.4

※平成28年は熊本県（10地区）を除く

令和3年調査の調査客体等は、調査結果の継続性、実行可能性の観点等から以下のとおりとはどうか。

《調査地区数》 1道府県あたり10地区、東京都15地区
全国475地区の約23,750世帯、約61,000人
 《抽出母体》 平成27年国勢調査地区から、無作為抽出
 《調査時期》 令和3年10月～11月

＜参考＞実施方法に関する留意事項

1. 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策

(1) 対面しない方法の積極的活用

地域の実情に応じて、以下の取組により被調査者と調査員が対面しない方法を積極的に活用する

- ・対象世帯に対して行う調査の依頼及び説明について、動画配信等を活用
- ・生活習慣調査について、オンライン調査を活用

(2) 調査員の感染症対策の徹底

調査員が感染源とならないための配慮として、調査員の健康管理を徹底するほか、調査時におけるマスク着用とアルコール消毒液等による手指消毒を徹底する。

(3) 身体状況調査会場における感染症対策の徹底

身体状況調査については、調査特性上、非接触の調査は不可能だが、会場における「3密」（密閉、密集、密接）を可能な限り回避する。

そのほか、「健康診断実施における新型コロナウイルス感染症対策について」（令和2年5月14日一部改正）を参考に実施する。

2. 歯科実態調査の上乗せ実施

拡大調査に加え、国民健康・栄養調査の対象者に対して歯科実態調査を上乗せしての同時実施となることから、都道府県の関係部局での連携体制の確保が必要。